

会行事・立花山樹名板追加取り付け 2021. 12. 10

多くのハイカーに親しまれている立花山に21年前、弊会と福岡森林管理署の連名で樹名板を取り付けた。それが劣化したのに加え、プラスチック素材だったことから昨年11月、木製の樹名板に取り換えた。元々、設置した樹名板は20数枚だったが、現



地調査の結果、最終的には100枚弱を取り付けることになった。コースは立花口と三日月山霊園の両ルート。これで数年は大丈夫と踏んでいたが、今年に入り、はちまきルートに取り残しがあることが判明。早速、再調査し、森林管理署に許可を得て追加取り付けすることにした。旧樹名板はカゴノキ、ヤブニッケイ、ムクノキなど7枚だったが、新たにウラジロガシ、アオキ、ヤマフジ、バクチノキなど20枚近くを加えて設置した。



平日にも関わらずハイカーは多いが、すれ違う度に「ご苦労様」との掛け声をいただく。昨年は「なんしょっと！」という声が多かったが、1年を経て認知していただいたのだろう。つい、ほくそ笑むことに・・・中には若い夫婦と見られる方から「これエノキですか？タマムシが来るんですよね！」とハイテンションで近づいてこれ、樹名板と一緒にカメラに収まる。まさに、こうした光景を待ち望んでいた感がある。



12月に入り不安定になりがちな天候は、この日、気温が高く空気も澄み渡り、立花山山頂からは大パノラマが広がり、何時間でも佇んでいられる気分。

樹名板の一部は直射日光をまともに受け、くすんでしまったものがあり、予定より早めに取り換えが必要かも、との思いもよぎるが、まずは2年越しで取り

組んできた行事を成し遂げた感がある。一人でも多くの方に木製樹名板に気づいていただき、山に、木に、寄り添う気持ちで楽しんでいただけたらと思う次第です。

スタッフ：手嶋、常藤、千田、丸山、田川、諸石（報告：諸石）